

IT組織能力強化のご支援

| IT組織(本サービスの対象) |

- 「情報・通信」の業種に分類される企業
- ユーザー企業の情報システム部門

行政や企業(顧客・自社)のデジタルトランスフォーメーションを担っていくIT組織の重要性がますます叫ばれておりますが、実際のところ、このようなIT組織では「年々高まる顧客の期待値」、「人材の質・量の不足」など数多くの課題を抱えられております。また、これらの重要な課題に対して抜本的な見直しが見なされることもないまま、眼前の業務遂行に手一杯となっている状況が多く見られます。

三菱総研では、企業の「IT組織能力強化」を重要な社会課題として捉えており、貴社の組織開発、人材開発における中長期的・継続的なパートナーとしてのご支援させていただくことが可能です。

IT組織の課題

- 顧客業務理解に対する要求レベルが年々高まっているが、十分に対応できていない
- IT人材の量・質ともに不足感が年々高まっている
- 外部人材の獲得が難航しており、即戦力化も難しい
- 業務の外製化率が高く、組織内部にスキル・ノウハウを蓄積・強化する機構がない
- 日々の業務に追われ、人材開発に十分なリソースを向けることができない
- 人材開発のための制度は存在するが、制度間の整合が取れておらず形骸化している
- 組織の新陳代謝が活性化せず、従業員のモチベーションが低下している



IT組織能力強化のポイント

- 人材および人材戦略を重要な経営要素として位置づける
- 貴社が提供する「普遍的な価値」を、人材開発の仕組みと整合させる
- 外部人材調達に頼りきりにならず、内部人材育成を基本戦略とする
- 人材開発は自前主義に陥らない
(増加する業務への対応と両立する策を模索し続ける)
- 従業員のモチベーションを低下させる要因を客観的に分析し、対策を打つサイクルを構築する

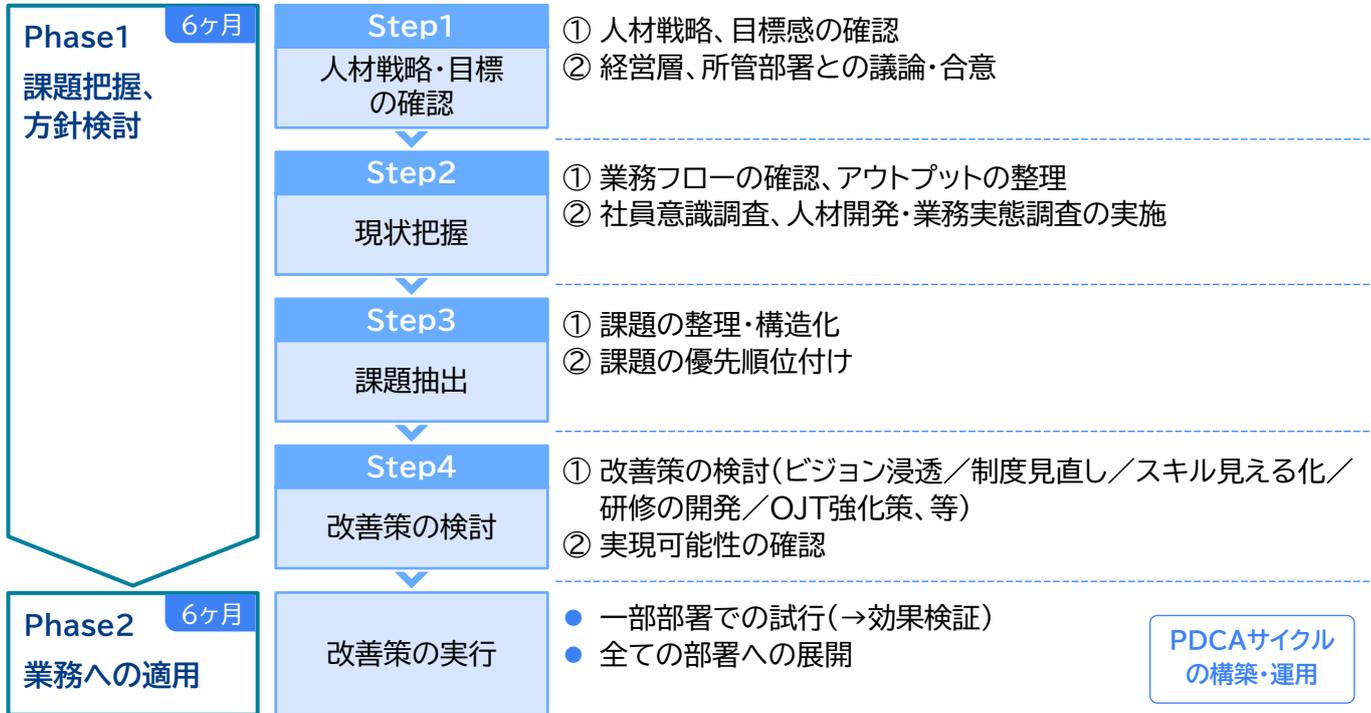


■ 当社の特徴 ■

組織開発・人材開発のパートナーとして継続的なご支援が可能
 (同一のお客様に対し10年以上ご支援した実績有)

組織開発・人材開発に関する国の動向を踏まえた情報提供、ご提案が可能

プロジェクトの進め方 | 標準タイプ



アウトプット例

課題抽出を経て、貴社の状況に沿った解決策・アウトプットをご提示いたします。

▶ マインド醸成に向けたアクションリスト

成果	具体的には
教育研修プログラムの効果向上	<ul style="list-style-type: none"> 研修内容の定期的な見直し 研修実施後の効果測定 研修参加者の意識調査 研修内容の定期的な見直し
業務効率化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 業務フローの定期的な見直し 業務効率化のための研修 業務効率化のためのツール導入 業務効率化のための意識向上
顧客満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度の定期的な測定 顧客満足度向上のための研修 顧客満足度向上のための意識向上 顧客満足度向上のためのサービス改善

▶ 貴社版 ITSS(UISS)の構築

2. プロジェクトマネジメント	計画	実行	評価	改善
プロジェクトの計画	プロジェクトの計画書の作成	プロジェクトの計画書の承認	プロジェクトの計画書の共有	プロジェクトの計画書の更新
プロジェクトの実行	プロジェクトの実行の進捗管理	プロジェクトの実行のリスク管理	プロジェクトの実行のコミュニケーション	プロジェクトの実行の報告
プロジェクトの評価	プロジェクトの実行の評価	プロジェクトの実行の評価の共有	プロジェクトの実行の評価の更新	プロジェクトの実行の評価の共有
プロジェクトの改善	プロジェクトの実行の改善	プロジェクトの実行の改善の共有	プロジェクトの実行の改善の更新	プロジェクトの実行の改善の共有

▶ OJTガイドラインの作成・研修の開発

OJTガイドラインの作成

- ① 研修内容の定期的な見直し
- ② 研修実施後の効果測定
- ③ 研修参加者の意識調査
- ④ 研修内容の定期的な見直し

OJTガイドラインの研修の開発

- ① 研修内容の定期的な見直し
- ② 研修実施後の効果測定
- ③ 研修参加者の意識調査
- ④ 研修内容の定期的な見直し

本資料に関する
お問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所

営業本部

03-6858-3493

service@mri.co.jp

担当 | デジタルイノベーション部門 ビジネスコンサルティング本部 別當

※無断での複写・複製・転記及び第三者への開示を禁じます。